

## タイのクリスマスについて

バンコック駐在員事務所

小沢 康正

サワディーカップ。今回は『タイのクリスマス』についてレポート致します。

一年中暑く、国民の 90%以上が仏教を信仰しているタイにおいて、イエス・キリストの誕生をお祝いするキリスト教のお祭りは、どのように行われているのかご紹介します。

タイにおいてもクリスマスシーズンが到来すると、街中がイルミネーションやクリスマスデコレーションで彩られ、クリスマスソングを至る所で耳にする機会が増えます。ただタイらしいのは「Happy New Year」と「Merry Christmas」を同時にお祝いしてしまう点です。12月上旬から「Merry Christmas」の文字が並び始め、12月中旬から「Happy New Year」の文字が並列され始めます。そして1月1日を過ぎても、それらの文字は街中にあふれているのです。



『有名デパートに設置されたクリスマスイベント会場』



『有名デパートに設置された巨大サンタクロース』

(写真:筆者撮影)

仏教徒が 90%以上のタイ国民にとって 12月31日と1月1日は祝日にはなっているものの特別な日ではなく、4月中旬にあるタイの旧正月ソクラーンの方が特別な日と感じているように思われます。タイの人たちにとって、クリスマスや正月は季節のイベントの一つとして楽しんでいるようです。

もしも皆さんがタイでクリスマスや正月を過ごす機会を持たれるのであれば是非バンコックを訪れてください。大都市で数多くの観光客を抱えるこの街は、タイ人・中国人・欧米人・アラブ人など数多くの人種が入り乱れており、細かいことは気にしないタイ人氣質も手伝って、楽しい「Merry Christmas」や「Happy New Year」を過ごすことができると思います。